



可部地区社会福祉協議会だより

124号

編集発行
可部地区社会福祉協議会
広報部会

印刷所 可部印刷(株)

福祉あけぼの

7月5日から6日にかけて、根の谷川の水位はどんどん上がり、7月6日の15時47分、根の谷川の洪水浸水想定区域に避難準備、高齢者等避難開始が発令、18時24分には避難勧告、19時27分には緊急の避難指示が出されました。川幅いっぱいに流れる濁流は、6日深夜に、可部中学校前のセブンイレブン横の、前回の災害で河川改修が終わったばかりの箇所を約30メートルにわたって損壊。写真は7月7日早朝撮影。



私たちは
いつ逃げるか

平成30年7月6日から7日にかけて、再び悪夢のような豪雨が西日本を襲いました。4年前の土砂災害の記憶も今だ生々しい中、今回の雨に私たちはどう対応したのか、そして今後も迫り来るに違いない自然災害に、どう対応するのか、考えます。

知ってた?! 団体

可部地区社協は地域のさまざまな団体が所属し活動しています。そんな各種団体をシリーズでご紹介します。

第6回 可部学区公衆衛生推進協議会

可部学区公衆衛生推進協議会（以下、可部学区公衛協）は、現在、29名の会員（公衆衛生推進委員）が、保健衛生活動と環境美化活動の2本柱で活動しています。

保健衛生活動では、「自分の健康は自分で守る」ことをスローガンに掲げ、行政と協働しながら以下の活動を行っています。

- 生活習慣病の予防や健康増進のために、専門講師による講演会（健康教室）の実施
- がんなどの疾病の早期発見を目的とした健康診査の受診推奨
- 不足している血液確保のための献血のお願いや受付などの支援
- 環境美化活動では、各町内会などの協力を仰ぎながら、ゴミ対策事業や、河川等をきれいにする運動を行っています。
- クリーン太田川などの河川清掃や、門前清掃の実施
- ゴミのポイ捨て、不法投棄、犬糞の放置禁止等の啓発看板の作成
- 家庭ゴミの適正分別、リサイクルの推進



●町内会等で使用する啓発用回覧板の作成
さらに区公衛協で行う環境美化標語募集や不法投棄防止キャンペーン、市公衛協で行う平和記念公園一斉清掃や、ゴミゼロクリーンウォーク等の活動にも積極的に参加しています。

平成30年7月6日 西日本豪雨災害 可部小学校への避難者141名

可部小学校区の避難場所として第一にあげられるのが可部小学校です。高齢者避難開始が行政から発令されるとすぐに開設されます。空振りになることを気にせず、早めの避難を開始することが、あなたの命を守ります。

避難には、基本徒歩で向かいますが、飲料水、毛布など最低限必要なものを持って行くには、やはり自家用車を使用する場合があります。先ず、熊本地震の際も、多くの避難者が自家用車で、安全な駐車場を目指しました。今回も、高齢の家族や、子どもを抱える世帯の一部は、近隣の商業施設の2階駐車場に、一時避難しています。夜間、大雨の中、荷物を抱えて避難するのは、徒歩であれば自家用車であれ、現実的には

避難には自家用車で?

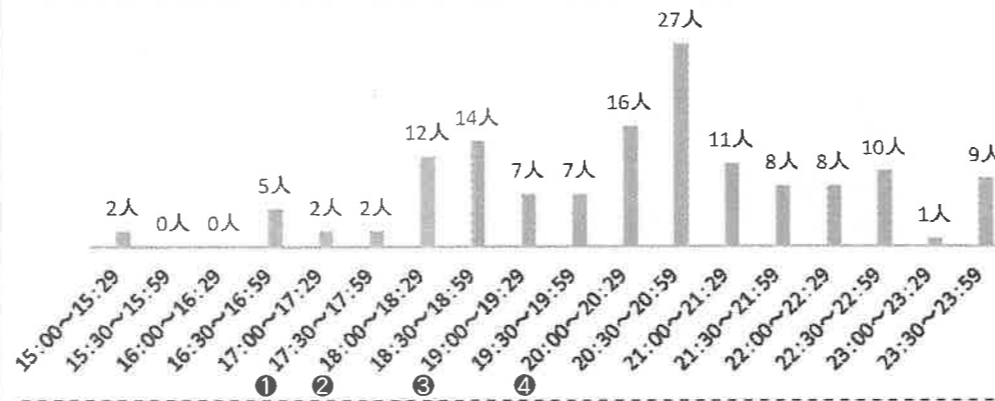
避難所には、基本徒歩で向かいますが、飲料水、毛布など最低限必要なものを持って行くには、やはり自家用車を使用する場合があります。先ず、熊本地震の際も、多くの避難者が自家用車で、安全な駐車場を目指しました。今回も、高齢の家族や、子どもを抱える世帯の一部は、近隣の商業施設の2階駐車場に、一時避難しています。夜間、大雨の中、荷物を抱えて避難するのは、徒歩であれば自家用車であれ、現実的には

自分の命は自分で守る

西日本豪雨災害は、広島、岡山、四国各県など、広範囲に甚大な被害をもたらしました。死者は8月18日現在で177人、行方不明者12人、住宅被害は2万1736棟。犠牲者の6割が自宅や避難準備をしていた途中で、土砂災害や、浸水に遭い、命を落としている地域は多い。自分の住んでいる地域はどのような立地なのか、どこに避難するのかが、避難用の防災セ

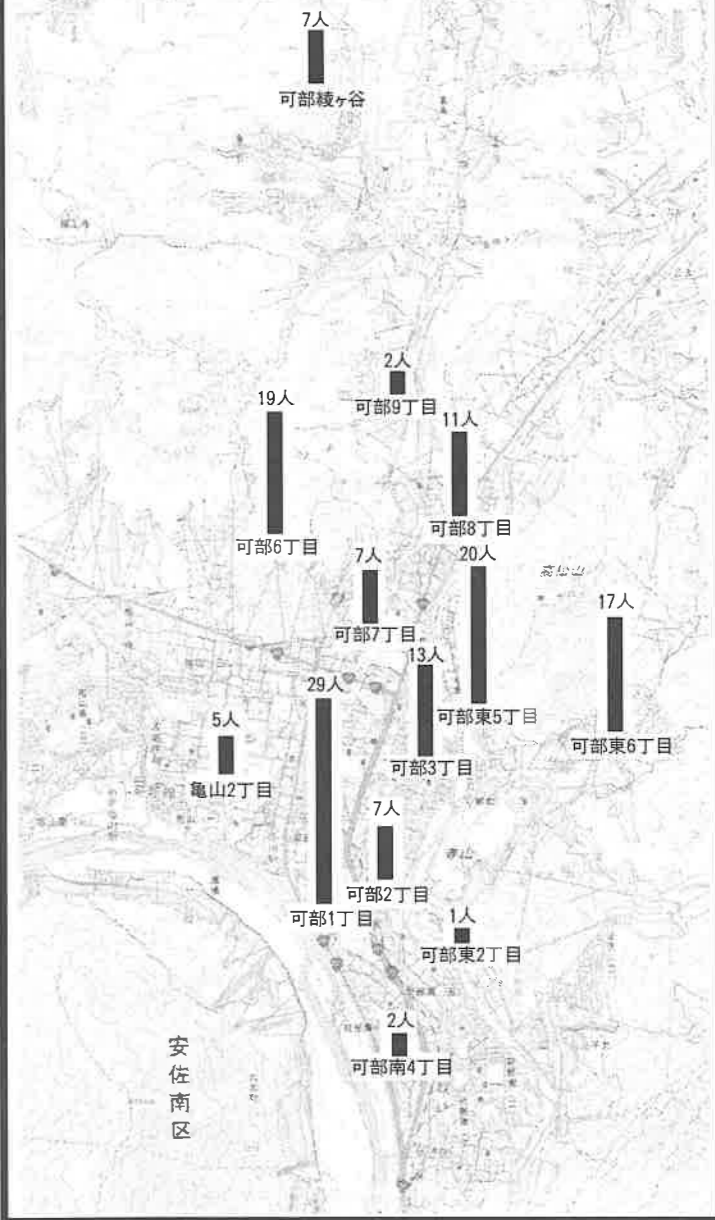
時間経過別避難者数

何れも安佐北区災害対策本部から可部学区対象のみ掲載



- ① 17:30~17:59 避難準備 高齢者等避難開始 柳瀬地区の太田川の洪水浸水想定区域
- ② 18:00~18:29 避難勧告 可部・可部南小学校区の根の谷川の洪水浸水想定区域
- ③ 19:00~19:29 避難指示 根谷川の洪水浸水想定区域
- ④ 20:00~20:29 避難指示 安佐北区内の全小学校区の土砂災害危険箇所

可部学区地区別避難状況



避難勧告、避難指示で動く

可部小学校の時間別避難者数では、根の谷川の洪水想定区域に避難勧告が出た7月6日18時、避難指示が出た19時、安佐北区土砂災害危険箇所避難指示が出た20時から21時にかけてがピークで、それから日付が変わる夜間にかけて避難しています。避難者の多くは4年前の広島土砂災害に遭った地域、土砂災害警戒区域、根の谷川、太田川の浸水想定区域に居住する方々です。

太田川氾濫時には可部町内が3.5メートルの浸水

国土交通省は、太田川の想定最大規模降雨時の浸水について、可部地域では最大3.5メートルの浸水を想定しています。今回の岡山の真備町では、あっといいう間に水位が上がって、2階に逃げるのがやっとという状況でした。可部でもそういうことが起こりうるのです。

ットを準備しているか、など、具体的に考えて備えることが必要です。

非常持ち出し袋を作ろう!

家族構成により非常持ち出し袋の内容は変わってきますが、基本は、ライフラインがすべて止まっても3日間持ちこたえることのできる、水、食糧、薬などの必需品があげられます。防災グッズが紹介されているパンフレットや、防災啓発チラシ、行政のお知らせなどを参考に、わが家にぴったりの防災グッズをそろえましょう。



ボランティアバンク りんりん可部

りんりん可部では、日常のちょっとしたお困りごとのお手伝いをいたします。お気軽にご相談ください。あなたもりんりん可部で、ボランティアをしてみませんか。りんりん可部では、ボランティアの担い手を大募集! あなたの時間を少しだけりんりんに使ってください。確かな充実感と、新しい仲間が待っています。

●ボランティア援助のお問い合わせ ボランティア希望登録のお申込み

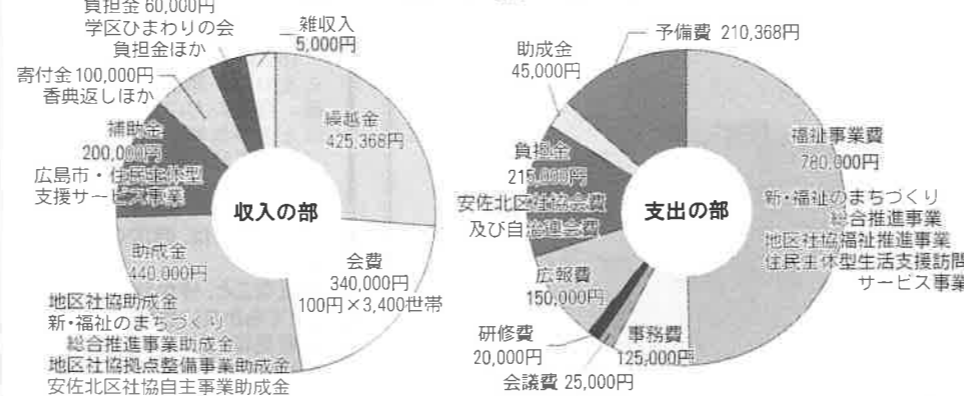
りんりん可部事務局
☎ 082-847-5509
FAX 082-815-0756
住所 広島市安佐北区可部3丁目34-1
可笑屋(かわらや)2階
受付 毎週火曜日、木曜日
10:00~12:00
13:00~15:00
祝日、盆休み、年末年始を除く

●救急医療情報キット配布!
救急車を呼んだ時や緊急時、飲んでいる薬や、かかりつけの病院、持病の情報などをシートに記入し、迅速に対応してもらうための「救急医療情報キット」を希望する方に配布しています。地域の福祉委員さんにご連絡いただくか、可笑屋でも申し込みできます。ご連絡いただくか、可笑屋でも申し込みできます。ご連絡いただくか、可笑屋でも申し込みできます。



- 平成30年度 可部地区社会福祉協議会役員
- | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------|-----|-------|-----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|--------|-----|-------|
| 監事 | 川本 幸壯 | 副会長 | 黒田 憲男 | 副会長 | 新居 ひとみ | 副会長 | 山本 和正 | 副会長 | 山本 礼子 | 副会長 | 山本 恵美子 | 副会長 | 山本 勝也 |
|----|-------|-----|-------|-----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|--------|-----|-------|

平成30年度予算額 1,570,368円



平成30年6月18日(月)、可部地区社会福祉協議会の総会が開催され、今年度の事業計画、予算、決算等が承認されました。「安心・安全なまちづくり」をスローガンに、地域の力によって誰もが支え合い、見守っていただくために、各町内会・自治会の一層のご協力をお願いいたします。また、救急医療情報キットは配布から7年が経過し、内容の更新や、新たな申し込みに積極的に推進します。地域に根付いてきたサロン活動は、さらに幅広い世代の居場所となれるよう取り組みます。ボランティアバンクりんりん可部は、毎年100件以上の依頼に応え、がんばっています。新たに住民主体型支援訪問サービスの事業も開始、介護保険制度の仕組みが変わる中、地域の担い手を支えます。ボランティアの担い手を高年齢化し、りんりん可部ではボランティアとして活動していただける方を大募集。ぜひご協力ください。

平成30年度 可部地区社会福祉協議会 事業計画

おくやみ

次の方々に香料をお供えし、
謹んでお悔み申し上げます。

(平成30年4月1日～平成30年8月31日現在)

- 久保 豪 様 可部9丁目 (九品寺)
- 芥川 久 様 可部2丁目 (可部駅前)
- 田川美恵子 様 可部8丁目 (城表)
- 戸田 壽美 様 可部3丁目 (二丁目)

真心に感謝

次の方々より心のこもった浄財を
いただき、感謝を申し上げます。

(平成30年4月1日～平成30年8月31日現在)

「香典返しに代えて」

- 芥川 信子 様 可部2丁目 (可部駅前)
- 久保ヒロコ 様 可部9丁目 (九品寺)
- 土井 豊一 様 可部東5丁目(台)
- 田川 国臣 様 可部8丁目 (城表)

「一般の寄付」

- 中村 公治 様 可部3丁目 (一般寄付)
- 増本智歌子 様 可部綾ヶ谷 (V/B寄付)

編集後記

黒田 正

4年前の十砂災害の記憶が生々しく残っているのに、またしても起きてしまいました。被害が広範囲に及び多数の犠牲者が出ました。

人間が災害に対して効果的な対策を考えても、自然はさらに猛威を振るって襲いかかってきます。自然災害は必ず起きます。常口頃から隣近所や人との繋がりを持ち、お互い助け合いましょう。

一川初子

7月6日の西日本豪雨による甚大な被害が、毎日報道される度、心が痛くなります。

4年前、集中豪雨で可部も十砂災害に遭い、この度も避難勧告がでました。その時、自主防災会や町内会がどう動かれ、どれぐらいの人が避難されたか知りました。

他人任せでは自分の命は守れないので、早め早めに行動しなければと思いました。

香川和子

今年は猛暑・酷暑の夏で、あまりの暑さに体調を崩した人も多かったのではないのでしょうか。「災害は忘れた頃にやってくる」と言われますが、広島豪雨災害から4年しか経たない今年、西日本を大きな災害が襲いました。まだ復興途中の安佐北区でもまた多くの被害がでました。何時、どんな災害が起きても不思議ではない状態です。自分の命は自分で守るという原則と防災に対して敏感になることが必要だと思います。

仁井美智子

暦の上では秋、体感是真夏。「ありえない～」 「ウッッ～」と何度驚きの声を上げてしまった事でしょう。

再び広島を襲った災害。本当に言葉がありません。テレビ等で度々放送される避難準備、避難勧告、避難指示、避難命令。間違っています。避難命令は「ない」そうです。

避難指示で避難は完了。考えを新たに、心の準備、口頭の準備、地域の皆様との「共助」。しっかり備えようと思います。

田川貴志子

100年に一度、50年に一度と言われる豪雨や、経験したことのない進路をたどる台風、いつ来てもおかしくない地震。自然の力の中、私たちは本当に無力ですが、何かあったときのために備えをすることはできます。自分が経験して初めて分かるというのでは手遅れですね。

皆様の声を募集します！

あけぼのでは、幅広く皆様のご意見、ご要望をお待ちしています。

身近なこと、分からないこと、最近気になることなど、どんなことでもかまいません。編集部までお寄せ下さい。

ご意見は、りんりん可部で受け付けるほか、可部地区社協役員にお渡し下さってもけっこうです。

皆様へのお願い

可部地区社協は、「弔事規定」により、香典返しの生活改善運動の推進と新たな財源探しに務めております。

平成六年より、地区住民の弔事に際して、可部地区社協より香料二〇〇〇円をお供えし、哀悼の意を表わしております。実施に当っては、町内(自治)会長様に香典を立替えていただき、領収書と会葬礼状をもって会計室にご請求いただくこととしております。

皆様へのお願いと致しまして、生活改善運動として、香典返しに代えてのご寄付を可部地区社協まで宜しくお願い致します。寄付金は可部地区社協会長宅に持参いただくか、連絡をいただければお伺い致します。

